

総合計画(中期)策定に向け、平成30年3月に18歳以上の市民から無作為に抽選された2,000人にアンケート調査を行い、630人の方から回答をいただきました。その際いただいた意見や質問、提言などについて、毎月テーマごとに、市としての方針や考え方などをお知らせします。



今月のテーマ

観光振興について

◆観光に関する問い合わせ
営業戦略課
☎01654③2111(内線3344)

いただいた意見、
質問、提言など

「名寄に観光!?どこのことですか…」
「観光にももっと工夫の余地はたくさんあると思います。良い素材があるのにもったいない」
「『ひまわり』パンフレットと現実に大きな差がある。再検討を早急に」など

回答

市では、観光分野のアクションプランである、名寄市観光振興計画(平成24年度策定、平成28年度一部見直し)に基づいて、観光協会や民間企業・団体等と連携協力のもと観光の取り組みを進めており、平成29年度の観光入込客数は約45万人となっています。

具体的には、本市の地域資源を活かした「なよろアスパラまつり」「ふうれん白樺まつり」「なよろ雪質日本一フェスティバル」といったイベントや「ひまわり観光」などにより、市民満足度の向上や交流人口の拡大に向け、オール名寄の体制で取り組んでいます。

また、本市との交流がある台湾をはじめ、近年増加している外国人観光客に対する受入体制の充実を図っています。

一方、圏域のさまざまな観光コンテンツを組み合わせ周遊させることにより、宿泊などの経済効果が生まれることから、近隣市町村との広域連携による観光の推進が必要とされており、上川北部9市町村で構成される「道北観光連盟」や「天塩川シーニックバイウェイ(※1)」、平成28年度に観光庁から認定された「日本のてっぺん。きた北海道周遊ルート(※2)」などが中心となり、自転車・カヌー・フットパスやJR・バスなどの公共交通機関を移動手段としながら、自然風景や歴史文化に触れ、ご当地の食を味わい、そしてアクティビティを楽しむ旅の提供などの取り組みを進めることにより、国内外からの観光客誘致に努めています。

いただいたご意見を参考に、今後も引き続き、観光協会や民間、市民の皆さまと一体となって、本市の豊かな地域資源のPR・情報発信に努めるとともに、近隣市町村と連携協力した広域観光の推進による交流人口の拡大に向け取り組みを進めてまいります。

※1 天塩川シーニックバイウェイ・・・上川北部9市町村による、地域の魅力を道でつなぎ、美しい環境づくりを目指す取り組み

※2 日本のてっぺん。きた北海道周遊ルート・・・外国人の誘客を目的に、道央圏から稚内までを結ぶ観光周遊ルート

参考

	H25	H26	H27	H28	H29	目標(H33)
観光入込客数(人)	392,500	535,500	474,000	485,000	446,200	880,700
外国人宿泊延数(泊)	136	163	545	417	1,094	1,635

▶次回のテーマ(予定) 公共交通について